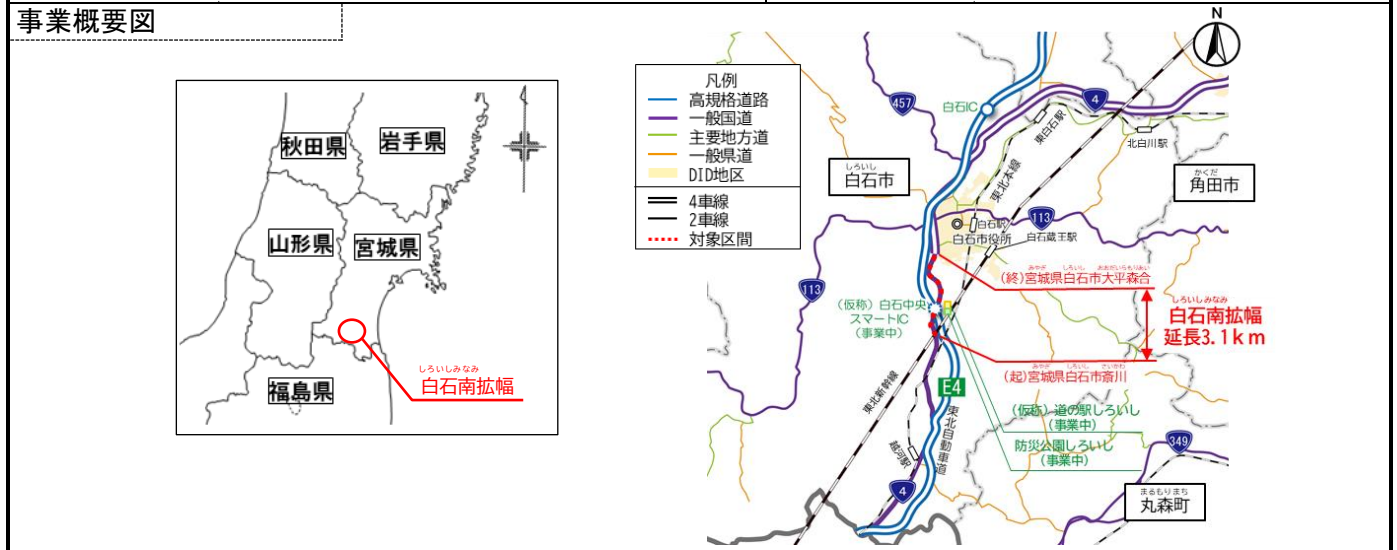


# 新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課  
担当課長名： 西川 昌宏

## 事業の概要

|           |   |       |            |      |                  |
|-----------|---|-------|------------|------|------------------|
| 事業名       | 一般国道4号 白石南拡幅  | 事業区分  | 一般国道       | 事業主体 | 国土交通省<br>東北地方整備局 |
| 起終点       | 自：宮城県白石市斎川<br>至：宮城県白石市大平森合  |       |            | 延長   | 3.1km            |
| 事業概要      | 一般国道4号は、東京都中央区を起点に、青森県青森市に至る延長約839kmの主要幹線道路である。このうち白石南拡幅は、交通混雑の緩和や地域産業支援等を目的とした延長3.1kmの道路事業である。             |       |            |      |                  |
| 事業の目的、必要性 | 当該道路の整備により、交通安全の確保や歩行環境を確保するとともに、幹線道路の強化による物流・地域産業の支援や安定した救急搬送ルートの確保による救急医療の支援並びに東北自動車道の代替道路としての機能向上を目的とする。 |       |            |      |                  |
| 全体事業費     | 約110億円  | 計画交通量 | 約18,300台/日 |      |                  |



## 関係する地方公共団体等の意見

【宮城県知事】  
予算化することについて同意します。  
一般国道4号は、東北地方と首都圏を結ぶ大動脈であり、東北自動車道とダブルネットワークを形成し、経済活動の活性化などの効果を発揮するとともに、災害発生時等には東北自動車道を代替する極めて重要な役割を担っております。  
当該区間と並行する東北自動車道の国見ICから白石IC間では、交通事故や大雨による通行止め発生回数が県内最多となっており、東北自動車道の通行止め時には、代替道路となる当該区間に車両が集中して渋滞が発生し、物流や緊急車両等の通行に支障をきたしております。一方、当該区間内では、(仮称)白石中央スマートICや道の駅、工業団地、防災公園等の拠点整備が進められ、さらなる地域経済の発展や防災機能の強化などが期待されております。代替道路としての機能を十分に確保し、強靱な道路ネットワークを構築するためには、「一般国道4号白石南拡幅」による機能強化は必要不可欠となります。  
つきましては、令和8年度新規事業としての予算化に特段の御配慮をお願いします。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

## 対応方針(採択理由)

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っていると同時に、都市計画手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、交通混雑の緩和や安全性の向上、地域の救急医療活動及び物流・地域産業の支援、代替道路としての機能向上など、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

事業評価結果(総合評価)

|                |
|----------------|
| 事業採択の前提条件      |
| ■ 便益が費用を上回っている |
| ■ 事業実施環境が整っている |

| 費用便益分析<br>(参考) | B/C  |     | (参考) | EIRR | 総費用                             | 76億円  | 総便益   | 99億円   | 感度分析                        |      | 基準年 |
|----------------|------|-----|------|------|---------------------------------|---|---|--------|-----------------------------|------|-----|
|                | [4%] | 1.3 | 1.4  | 5.7% | 事業費:<br>67億円<br>維持管理費:<br>8.8億円 | 走行時間短縮便益:<br>91億円<br>走行経費減少便益:<br>4.6億円<br>交通事故減少便益:<br>4.4億円 | 時間信頼性向上便益:<br>6.7億円<br>CO2排出削減便益:<br>0.07億円 | 交通量変動  | B/C= 1.1 ~ 1.4 (変動ケース:±10%) | 令和7年 |     |
|                | [2%] | 1.9 | 2.0  |      |                                 |   |   | 事業費変動  | B/C= 1.2 ~ 1.4 (変動ケース:±10%) |      |     |
|                | [1%] | 2.3 | 2.5  |      |                                 |   |   | 事業期間変動 | B/C= 1.2 ~ 1.4 (変動ケース:±20%) |      |     |

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([ ]内は社会的割引率の値)

| 事業の影響    | 評価項目        | 評価   | 根拠   |
|----------|-------------|------|--|
|          | 自動車や歩行者への影響 | 渋滞対策 | ○  |
| 事故対策     |             | ◎    | ・中央分離帯の設置により、沿道出入りに起因する事故が抑制され、走行時の安全性を確保<br>【死傷事故率】<br>現況:47件/億台キロ ⇒ 整備後:12件/億台キロ(約7割削減)  |
| 歩行空間     |             | ◎    | ・通学路で歩道未整備区間に歩道が整備され、歩行者の安全性が向上  |
| 社会全体への影響 | 住民生活        | ◎    | ・4車線化により救急車両が走行できる車線が確保されるため、救急搬送における安定性と速達性が向上<br>【白石市斎川からみやぎ県南中核病院までの所要時間】<br>通常時 現況:27分 ⇒ 整備後:26分(1分短縮)<br>東北自動車道通行止め時 現況:36分 ⇒ 整備後:30分(6分短縮) |
|          | 地域経済        | ◎    | ・幹線道路の混雑が緩和し、安定した物流ルートが確保され、物流・地域産業を支援<br>【電子機器製造メーカーから物流拠点までの所要時間】<br>通常時 現況:12分 ⇒ 整備後:11分(1分短縮)<br>東北自動車道通行止め時 現況:20分 ⇒ 整備後:14分(6分短縮)          |
|          | 災害          | ◎    | ・交通容量を確保し、東北自動車道通行止め時における代替道路としての機能を向上<br>【国道4号現道の旅行速度】<br>東北自動車道通行止め時 現況:21km/h ⇒ 整備後:50km/h(29km/h向上)  |
|          | 環境          | ○    | ・環境の改善* (CO2排出削減量480.7t-CO2/年[CO2排出削減便益:0.07億円])   |
|          | 地域社会        | ○    | ・当該事業区間である白石市と周辺市町村との連携を深め、生活・産業を支援  |

|  |
|--|
| 事業実施環境                                   |
| ・都市計画決定手続き完了(R8.2.17)                    |
| ・宮城県知事、国道4号拡幅改良(4車線)建設促進期成同盟会により早期事業化を要望 |